

震災・原発事故から 「あの戦争」について考え直そう!

<日時> 7月24日(日)(14時開場) 14時30分開会

<場所> かながわ県民センター会議室402(横浜駅西口5分)

第1部 証言

「東日本大震災の復興に望む」

～前車の轍を踏むなかれ～

証言者：絵鳩毅さん(98才：元中国帰還者連絡会会員)

*絵鳩さんは「関東大震災の復興の道は戦争への道だった」と喝破しました。関東大震災の体験とあわせて今回の大震災についてビデオ・メッセージを寄せて頂きました。

第2部 講演

「加害を伝える意味」

— 平和のために学ぶべきこと —

講演者：藤田秀雄さん(立正大学名誉教授・元第五福竜丸展示館副館長)

*藤田先生は平和学の研究や平和運動に携わってこられるなかで、かねてから中帰連の加害証言にも深く注目してこられました。

*藤田先生に、絵鳩さんのこれまでの証言にも触れて頂きながら、加えて戦後の原水禁運動から、地元横須賀での原子力潜水艦・空母の寄港反対、母港化反対の運動を指導された先生ご自身の体験にもとづいて、福島原発事故と、米原子力艦の危険性についても話ししていただきます。

資料代 500円(学生は無料です)

証言集会の再開にあたって

3月12日、13日に計画していた「神奈川証言集会」は、前日に発生した大震災のために会場が閉鎖されて中止になりました。

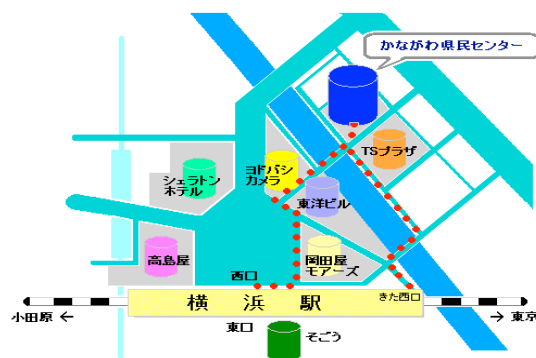
交通事情も困難な中を会場まで駆けつけて下さった方もおられたことが後日判明しました。急きよとはいえ連絡の不十分さについて主催者としてお詫びします。

なお、予定していた絵鳩さんと坂倉さんの証言は、秋にご本人たちに来ていただいて集会を開催する予定です。

3月11日の東日本大震災による空前の被害を前に、被災者の皆さんへの言葉も見つかりません。その上、私たちはいまなお終息のめどさえ立たない原発災害におびえながら毎日を送らなければなりません。チェルノブイリを越えて、人類にとっての「未体験ゾーン」への突入を余儀なくされました。

主催者としてはこの現実を、歴史を検証する中から見つめなおすことこそが必要だと考えて今回の証言集会を企画しました。ぜひご参加ください。

第1部の絵鳩さんですが、ご本人は参加の意志をお持ちでしたが、最も暑い時期ながら節電の影響で空調の使用も制限される可能性があり、高齢のご体調に配慮して主催者判断で「ビデオ証言」としました。ご理解ください。ビデオ上映は約40分を予定しています。



会場案内（かながわ県民センター）

藤田秀雄さんについて

1959年から立正大学専任講師、助教授、教授を経て現在立正大学名誉教授。

その間、北大、明治学院大、早大などの非常勤講師をも勤められました。

また、日本学術会議平和研連委員、第五福竜丸平和協会副会長などを歴任され、現在も平和の文化をきづく会代表、平和のための学習・文化研究会代表の任にあたられています。

横須賀市在住。

おもな編著書に『沖縄の叫び：ベトナム戦争の基地』、『日本社会教育史』、『平和学習入門』、『学習権保障の国際的動向』、『ユネスコ学習権宣言と基本的人権』、ほか。